

地域密着型サービス事業者 自己評価表

(認知症対応型共同生活介護事業所 ・ 小規模多機能型居宅介護事業所)

事業者名	グループホーム ふれあいの家・月寒	評価実施年月日	平成21年10月5日
評価実施構成員氏名	佐藤武治・田中真智子・佐々木千恵子・井上サキ子・手嶋文・和崎弘子・渡会静子・芝田和子		
記録者氏名	田中真智子	記録年月日	平成21年10月5日

北海道

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>1 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。</p>	<p>ケアサービスを提供する意味で、常に根本的な考え方に立ち戻る姿勢を心掛けて作り上げている。</p>		
<p>○理念の共有と日々の取組み</p> <p>2 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。</p>	<p>代表者は日々のミーティングや申し送り等で、職員と一緒に介護で大切な事や、実践に生かせる事を共有している。</p>		
<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>3 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。</p>	<p>理念が建物内に掲示されており、契約時にも説明し、浸透を図っている。</p>		
2. 地域との支えあい			
<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>4 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。</p>	<p>町内会に入っており、冬期間以外は玄関を開放して、通路には花を植えたりして、和やかな雰囲気作りを心掛けています。近隣の方々から、植木等を頂く事もあります。</p>		
<p>○地域とのつきあい</p> <p>5 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。</p>	<p>町内会に加入し、行事にも参加しています。日常的に散歩や買い物に出掛け地域の人々と挨拶をしたり話をしています。</p>		<p>今後も継続して町内会への積極的な参加を続け、さらに地域に溶け込める様努めます。</p>
<p>○事業者の力を活かした地域貢献</p> <p>6 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。</p>	<p>運営推進会議を企画し、近隣の方々にも参加して頂き情報交換しています。人材育成の貢献として、実習生の受け入れも積極的に行っています。</p>		<p>利用者にとって、実習生との交流が良い刺激になっています。今後も積極的に実習生を受け入れてゆきます。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p> <p>より良いホーム作りの為に、評価の内容・結果を職員全員で検討し、共有しています。</p>		
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p> <p>当ホームの取り組み等を理解して頂き、会議で出た意見の中から、実際に生かせる事が出来る様、職員全員で検討している。</p>		
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p> <p>困った時や疑問がある時は、市町村役所に直接相談するようにしています。市町村主催の研修等は積極的に参加しています。</p>		
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p> <p>研修等に積極的に参加し、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について、勉強するようにしています。必要と考えられる方については、家族とも十分な話し合いの上で支援してゆきます。</p>		
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p> <p>ミーティングや資料等で虐待が及ぼす影響を勉強をして、言葉の虐待もある事を意識してケアに携わっています。職員間でも、お互いのケアに注意を払い、虐待防止に努めています。</p>		
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p> <p>入所時に契約書や重要事項説明書について、十分な説明をし同意を得ています。介護報酬の改定や制度改正等により、利用料が増加する場合など事前に家族に連絡をして、一方的な通達にならないように心掛けています。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>13 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>利用者の言動や表情から、不満がないか気づく様に注意深く見守りしています。</p>		
<p>○家族等への報告</p> <p>14 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている。</p>	<p>ふれあい便りの発行を通して定期的にホームの様子を伝えています。面会時にも近況を報告しています。</p>		
<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>15 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>受付・窓口・責任者を文章で明示し、家族にも伝えています。又、相談・苦情を気軽に言ってもらえるように、日頃から話をしています。さらに、意見などを頂いたときにはミーティングで話し合い、反映させます。</p>		
<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>16 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>内部会議の時に意見交換してる他、日常会話の中からも提案などないか意識しています。</p>		
<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>17 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。</p>	<p>申し送り等で利用者・職員の状況を把握しています。報告・連絡・相談は昼夜問わず行われており、必要時は半日勤務(時間変動あり)等の勤務調整をしています。</p>		
<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>18 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。</p>	<p>職員採用時には、面接のほか職員と一緒にホームに適した人材かをの、見極めを話します。利用者への影響を考慮して職員の移動はしていません。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19 ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	それぞれの職員に合わせた研修への参加をしています。		
20 ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。	グループホーム連絡会や管理者会議への参加を通して交流しています。		
21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。	ミーティングや内部会議の他、日常の会話の中からストレスがないか、聞き出すようにしています。 職員の誕生祝いとして、食事会等をしています。		
22 ○向上心をもって働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。	努力している様子が伺える職員には、その都度その努力をたたえる言葉掛けをしています。職員の資格取得に向けた支援をしています。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23 ○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。	声掛けを多くして本人からの言葉を傾聴します。 会話以外にも、目線や動作などからも、理解するようにしています。		
24 ○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。	家族との面談時には、会話だけでなく声のトーン等からも家族の心理を理解するように努めており、事業所してどのような対応が出来るか、事前に話し合いをしています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	本人と家族の現状を理解して、当ホームに入所する事で、本人・家族がより良い状態になるか、十分に話し合います。		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	入所前に本人と家族に見学に来て頂き、その時の本人の様子を参考にして、馴染めそうか相談します。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	それぞれの利用者に合わせて、本人に出きる事を積極的に行って頂き、作法・躰・料理等その都度教えて頂いています。		今後とも支援する側、される側ではなく、お互いが協働しながら和やかな生活が出きるような、場面作りや声掛けを継続します。
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	職員は家族の思いに寄り添いながら、日々の出来事や気付きの情報を共有し、本人と一緒に支える為に、家族と同じような思いで支援している事を伝えています。		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	誕生会や行事他、運営推進会議にも参加して頂き、交流を深める様にしています。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	家族等の関係者が来訪した時には、居心地良く過せる雰囲気作りを心掛けています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	利用者の個性や性格を見極めながら、良い関係が作れるように声掛けや、必要に応じて職員が間に入る等の配慮をしています。 又、心身の状態や気分・感情で日々時々変化する事もあるので、注意深く見守るようにしています。		住み慣れた家を離れて、一人グループホームで暮らす中には、当人同士にしか分かり合えない事もあります。支えあいながら、共に乗り越えていく、利用者同士の関わり大切さを、常に意識して今後も支援してゆきます。
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	サービスが終了したときでも、今まで通りの対応をし、「今後も、いつでも相談に応じます」と笑顔で声掛けしています。 又、新しい住まいでもこれまでの暮らしが継続できるように、プライバシーに配慮しつつ、情報を提供し連携して支援していきます。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	家族の面会時にも、本人の様子等の情報収集に努めています。利用者の言葉だけでなく、表情などからも本人の意向や希望を把握するように、努めています。		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	生活歴に関する情報を本人と家族から教えて頂き、利用者にとっての大切な出来事・思い出を把握するようにしています。		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	行事等を通して、利用者の方々の様子を見ながら、心身状態等を総合的に把握しています。 利用者個々の生活リズムを理解すると共に、行動や小さな動作からも感じ取り本人の全体像を把握するように努めています。		その人の全体像を把握する為に、出来ない事より、出来る事に注目する視点も大切です。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	お互いの気付きや情報を活発に話し合い、職員全員で介護の方法や方向性について考えています。 家族の訪問時には、自然な会話の中で介護計画について、意見を引き出すように、努めています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	介護計画は日々の中で必要時に見直され、よりその人に合った内容となるように、作成しています。		
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	個別にファイルが用意されており、日常の生活の様子や排泄・食事・水分量など、見やすく記録しています。 介護計画の見直しの際には、日々の記録からも評価しています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	食事時間頃に来訪された時には、家族の分も食事を用意して一緒に食べて頂き、ゆっくりと交流しています。誕生会等を企画して、家族を過す時間を作っています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	近隣住民や派出所や消防署や地域民生委員に働きかけ、お年寄りの安否の見守り等連携しています。 市事業によるオムツ券の活用等、介護保険以外の情報も把握し、家族に伝えています。		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	家族・本人との話し合いの上で、レンタルベット等福祉用具貸与を利用しています。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	運営推進会議に出席して頂いています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
43 ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	本人と家族が納得した、医療機関を確保しており、利用者個々に合わせて、受診又は往診を受けています。		
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	認知症に関する診断・治療が出来る医師が利用者個々に対応しています。又、職員も気軽に相談出来る医師が主治医になっています。		
45 ○看護職との協働 事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	地域の訪問看護ステーションと連携しており、定期的な健康管理が出来てます。緊急時にも電話や訪問で対応出来る体制になっています。		今後も、体調や些細な表情の変化を見逃さず、早期発見に取り組んでいき、変化や気づいた事がある時は、早期対応をして適切な医療につなげていき、利用者に安心・安全に過していただきます。
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	入院時には、時折見舞いに訪れ、利用者の様子を見ます。		
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	入所時に家族と本人に重度化した時・終末期について良く話し合いをしています。話し合いの内容は職員全員に周知しています。主治医との連携を密にして、早い段階から家族にも連絡しています。		
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	家族・本人・主治医・訪問看護・職員の話合いの上で、ホームで出来るケアと出来ないケアをしっかりと見極めて、支援していきます。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>○住替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>49 本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。</p>	<p>住み替え前に、本人・家族を含む関係者と十分な話し合いをし、情報交換する事で、ダメージを最小限にするように努めています。</p>		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>50 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。</p>	<p>本人にとってプライバシーや誇りに配慮した声掛け・対応が来ています。個人に関するメモ等を放置しない他、破棄する時はシュレッターにかけています。居室に入出入りする際は本人に声を掛け了解を得てから入室しています。</p>		
<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>51 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。</p>	<p>日常会話の中から本人の思いを引き出すような声掛けをしています。誕生会を企画する時は本人や家族にメニューの希望を聞く等して、出きる限り意向に添うにしています。</p>		
<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>52 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。</p>	<p>本人が出きる事は時間がかかっても自分でして頂き、職員は本人の様子を見守りし、必要時声掛けや介助をしています。</p>		
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>53 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。</p>	<p>正月・お盆に着物・浴衣の着付けをしています。訪問美容や近所の美容室へ出掛ける等個々に対応しています。毎朝メイクして、身だしなみを整える他、1週間に2回フェイスエステとして、利用者又は、職員が顔をマッサージしています。</p>		<p>どの程度に整容を整えるかは、利用者個々の価値観による差もある為、今後とも個人の習慣などに勘案しながら、支援してゆきます。</p>
<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>54 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。</p>	<p>食事は職員も利用者と一緒にテーブルに座り、会話の中で自然に好み等を聞いています。利用者それぞれの出きる事を見極めて、本人の自信につながる内容の家事(調理)を支援しています。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
55 ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	利用者の体調に合わせて飲酒を楽しんで頂いています。喫煙は場所を決めて職員見守りの下で行っています。本人・家族と十分な話し合いの上で自室で好きなおやつを食べている方もいます。		
56 ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	排泄介助は本人のプライドに配慮して行っています。利用者個々に合わせた排泄介助・声掛けをしています。日中・夜間・外出時等用途に合わせてリハビリパンツやオムツを使い分けています。		今後も、不適切な排泄ケアで利用者に与える影響がある事を常に考えながら、細心の注意と気配りをして、介助します。
57 ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	入浴の順番は利用者同士の話し合いで決めています。入浴剤を使い、十分に温まって頂く他、香りも楽しんでいます。洗身時には同時に足浴もして、身体を温めています。地域の銭湯へ出掛ける事もあります。		
58 ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	食後居間のソファで休んだ後に自室へ行き横になったり、それぞれ自分のペースで休息しています。天気の良い日には布団を日干しして、入床環境を整えています。外出の後には十分に休息して体調を整えて頂いています。		屋寝の時間と夜間の入眠時間の関係を考慮して、休息を支援しています
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	利用者の生活歴や能力を十分に見極めて、個々の力を発揮できる様な、役割や楽しみごと(レク)を支援しています。庭の花を使って花を生けたり。ピアノを演奏する方もいます。		
60 ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	定期的に本人・家族に出納確認する上で、財布(お金)を自己管理している方もいます。本人・家族と話し合いの上で金銭出納はホームで管理しているが、家族に了解を得ている金額のみを財布に入れて自分で持っている方もいます。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	買い物・散歩等本人の体調と天気に合わせて積極的に外出しています。家族と外食へ出掛ける方もいます。		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	利用者の体調を見ながら、家族にも協力して頂き、外出を楽しんでいます。個別ケアで温泉へ出掛けた方もいます。		
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している。	利用者の状況に合わせて電話対応の支援をしています。家族にあてて、年賀状を書いて頂いています。字の読み書きを忘れないように、本を読んで頂いたり、自分の名前を書く練習をしています。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	来訪時には、笑顔で出迎え、利用者の状態に合わせて、自室又は、居間で過して頂いています。ホーム手作りのジュースやおやつでおもてなしをしています。		
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束の影響を職員全員が理解しており、常時身体拘束のないケアを実践しています。		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	日中は玄関の鍵を掛せず、扉も開放しています。玄関ホールと室内の間の戸には家庭的な雰囲気に合ったソフトな音のセンサーが設置してあります。利用者が外出しそうな様子を察知したら、止めるのではなくさりげなく声を掛けたり、一緒について行く等、安全面に配慮して、自由な暮らしを支えるようにしています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
67 ○利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	職員は常に利用者の所在確認と安全を意識してケアに、あたっています。夜間は特に神経を集中させ、巡回時以外にも訪室や見守りを行って安全確認しています。		
68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	薬や包丁は職員のみが出入りする場所に保管し、包丁は使用前後に数を確認しています。チャッカマンとカッターは利用者から見えない引き出しの奥の方に場所を決めて保管しています。		
69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	利用者個々の状態を把握し、ありとあらゆる考えられる事故を予測して防止に努めています。誤訳防止は、薬の準備・内服確認は、複数の職員で行っています。		
70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	消防隊員による救命救急法の研修を通じて、応急手当を行える学習をしています。利用者個々に合わせた、急変時の対応について、話し合いがされており、内容は職員全員で共有しています。		消防署の協力を得て、避難訓練や消火器の使い方等の訓練を今後も定期的に行っていきます。
71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	利用者も含めた避難訓練をしています。地域の方々との協力関係作りの為に、職員・利用者は積極的に挨拶をし、馴染みの関係を築けるように努めています。		
72 ○リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。	転倒等考えられるリスクについては、十分に話し合いがされています。ホームで出きる範囲内でのリスク回避とバリアフリーをしています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>○体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。</p>	<p>毎朝のバイタル測定にて早期発見に努め、又、異変時には家族に連絡をして相談の上対応します。</p> <p>又、訪問看護ステーションとも連携して対応にあたります。</p>	
74	<p>○服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>利用者個々の処方箋が添付された服薬管理簿を作成し、職員全員が薬の内容を把握出来る様にしています。</p> <p>薬が変わった時や臨時薬が処方された時は申し送りで伝達して職員全員に周知しています。</p>	
75	<p>○便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。</p>	<p>体操や散歩やレク等適度の運動を行っています。</p> <p>乳製品・寒天・繊維質の多い食品をメニューに取り入れる他、適量の水分摂取を促しています。</p> <p>必要時、腹部マッサージをしています。</p>	<p>バランスの取れた食事をしっかり取る事で、便秘がちな方の体質改善にもつながっていたと考えられる。</p>
76	<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れやおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。</p>	<p>訪問歯科診療を受けています。利用者の状況に合わせて、毎食後口腔ケアをしています。生薬入りの歯磨き粉を使っている方もいます。</p>	
77	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>食事の調整等が必要な場合は、他の利用者と比較されないような工夫と配慮をしています。利用者それぞれの食事・水分の摂取量を把握して栄養に偏りがないように注意しています。</p>	<p>むせたり、飲み込みが悪くなった利用者についても安易に人工的な栄養補給に頼らず、調理方法等を工夫して食事が出来る様に支援しています。</p>
78	<p>○感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>感染症に関する資料が見やすくファイルしてあり、いつでも見れる場所に置いてあります。</p> <p>インフルエンザ予防接種を利用者と職員全員が受けています。</p> <p>外出後・食事前にうがい・手洗い・消毒をしています。</p> <p>来訪者のうがい・手洗い・消毒を徹底して行って頂いています。</p>	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	調理用使い捨て手袋を着用して調理しています。 魚・肉・野菜の用途に合わせてまな板を使い分けています。 調理の前には手指を十分に洗い消毒しています。まな板・布巾・包丁等は毎日塩素系洗剤で漂白・消毒しています。 食材の産地には配慮して国産を使うように心掛けています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。	近隣に違和感のないような表札が掲げられています。玄関アプローチには花を飾り親しみ易い雰囲気になっています。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	窓辺の強い日差しがまぶしすぎないように、レースのカーテンを2枚つける等配慮しています。居間に自分達で作った季節の工作を飾っています。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	居間以外のちょっとした空間にも、椅子が置いてあり思い思いの場所でくつろいでいます。		
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	入所時にはペットや筆筒や仏壇等本人の馴染みの物を持ち込んで使って頂いています。本人の好みの写真等を飾ったりしている方もいます。		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。	各居室や共有スペースに温度計が置いてあります。 時季に合わせて除湿機と加湿器を使い分けています。 居間には空気清浄機が置いてあります。換気扇設置の居室もあります。 換気の必要性を職員全員が理解しており、タイミング良く窓の開閉をして換気しています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85 ○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	トイレ・風呂・玄関・階段等利用者の状況に合わせて手すりを設置しています。ホーム内に2ヶ所テレビモニターを設置しており、十分な見守りが出きる様になっています。		
86 ○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。	本人の好む場所や椅子の配置等むやみに移動しないようにしています。夜中でも迷わずトイレに行ける様にトイレの電気は付けたままにして、戸も開放しています。自室が解る様に暖簾に名前を付れたり、居室入口に表札を付れたりしています。		
87 ○建物の外回りや空間の活用 建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。	庭にベンチが置いてあり、いつでも日向ぼっこや夕涼みが出来ます。庭の植木・花の水やりが便利な様にロングホースを設置しています。庭の芝生に足をつまづかないように、芝生の手入れをしています。		

V. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者 <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらい <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらい <input type="radio"/> ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/> ①毎日ある <input type="radio"/> ②数日に1回程度ある <input type="radio"/> ③たまにある <input type="radio"/> ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者 <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらい <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらい <input type="radio"/> ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者 <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらい <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらい <input type="radio"/> ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者 <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらい <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらい <input type="radio"/> ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者 <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらい <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらい <input type="radio"/> ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者 <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらい <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらい <input type="radio"/> ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族 <input type="radio"/> ②家族の2/3くらい <input type="radio"/> ③家族の1/3くらい <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

V. サービスの成果に関する項目	
項目	取り組みの成果
96	<p>通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている</p> <p>○①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない</p>
97	<p>運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。</p> <p>○①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない</p>
98	<p>職員は、生き生きと働けている</p> <p>○①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない</p>
99	<p>職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>○①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない</p>
100	<p>職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>○①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどいない</p>

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)

産地にこだわった食材を使って、高齢者に合った味付け・調理方法で美味しい食事を毎食手作りで提供しています。
音楽療法・園芸療法を取り入れており、生き生きと過ごされる様子が日々みられています。
施設ではなく、一般家庭の延長という目線でケアが実践されており、それぞれの利用者が自分のペースで穏やかに過しています。